

平成31年度事業報告

(平成31年4月1日~令和2年3月31日)

会員

区分	部会等		H31.3.31	入会	異動入	退会	異動出	R2.3.31
正会員	開業	A	2 6 4	1 0	1	5	6	2 6 4
		B	5 0	0	6	3	0	5 3
		D	7 7	2	0	5	1	7 3
		E	4	0	0	1	0	3
	小計		3 9 5	12	7	14	7	3 9 3
	衛生・畜産	A	6 8	0	0	3	1	6 4
		B	3 6	1	1	4	0	3 4
		C	5	0	0	0	0	5
	小計		1 0 9	1	1	7	1	1 0 3
	教育・研究他	A	6 1	2	0	1	0	6 2
		B	2 5	0	0	0	0	2 5
		C	1 3	0	0	1	0	1 2
	小計		9 9	2	0	2	0	9 9
	合計		6 0 3	15	8	23	8	5 9 5
賛助 会員	法人		2 3	1	0	2	0	2 2
	個人		0	0	0	0	0	0
	合計		2 3	1	0	2	0	2 2
総合計			6 2 6	16	8	25	8	6 1 7

※ 異動：部会間の異動

新会員（平成31年4月1日から令和2年3月31日までに入会された会員）

区分	部会等		会員名（受理順、敬称略）（()は勤務地）
正会員	開業	A	多田羅由香(富田林市)、上田通裕(高槻市)、寺前泰介(堺市)、野田隆(東大阪市)、久保田大輔(東大阪市)、吉岡竜太(寝屋川市)、新名雅文(枚方市)、磯部孝(東大阪市)、室田晋吾(東大阪市)、上田華菜子(東大阪市)
		D	岡田悟(和泉市)、谷口恵子(富田林市)
	小計		1 2 名

	衛生・畜産	B	平田祥太郎(大阪市)
	小計		1 名
	教育・研究他	A	柴康太郎(泉佐野市)、西田英高(泉佐野市)
	小計		1 名
	合計		1 4 名
賛助 会員	法人		一般財団法人京都工場保健会
	合計		1 名
総合計			1 5 名

会議等

役員会等開催概要		
定時総会	R 1.5.30	決議事項 平成 30 年度事業報告の件 平成 30 年度決算の件 会費等の額及び納入方法の改正について 役員の選任について 報告事項 平成 31 年度事業計画の件 平成 31 年度予算の件 平成 31 年度資金調達及び設備投資の見込みについて 規則、規程等の改正について
理事会	H31.4.24	総会にかける決議事項 平成 30 年度事業報告の件 平成 30 年度決算の件 役員候補者の決定について 会費等の額及び納入方法の改正について 総会事業報告 平成 31 年度事業計画書の件 平成 31 年度収支予算書の件 平成 31 年度資金調達及び設備投資の見込み 規則規程の改正 近連獣大会表彰者の件 会費未納会員の状況 会長表彰等の推薦状況

		総会運営の件 事業についての報告
	R1.5.30	総会運営の件 会長表彰、中村賞の件 ライトハウス感謝状の件 新役員による代表理事等の選定について
	R1.5.30	代表理事業務執行理事の選定
	R1.10.18	大阪府動物愛護管理基金寄附事業実施要領について 寄附事業のための事業計画について 寄附事業のための補正予算について
	R2.2.28	令和2年度事業計画書について 令和2年度収支予算書について 令和2年度資金調達及び設備投資の見込みについて 大規模自然災害発生時における相互支援体制の整備活動等に関する協定の締結について 災害時における愛玩動物への救護活動等に関する協定の締結について 新型コロナウイルス感染症への対応について 事業報告

(部会、五十音順、敬称略)

理事	業務執行理事；会長(代表理事)：佐伯潤(開業)、相談役：木下久則(開業) 副会長：北原千春(開業)、吉川信行(衛生・畜産)・澤田勉(教育・研究他)、 淡路俊喜(開業)・田中啓一郎(衛生・畜産、事務局) 理事(開業)：坂口秀平、佐藤昭司、寺田芳徳、新山亮、西村厳童、 理事(衛生・畜産)：木村滋、小泉典代、 理事(教育・研究他)：中井正博、三宅真実、
監事	安田圭一郎(開業)、留河義輝(衛生・畜産)、笹井和美(教育・研究他)

会務運営会議 業務執行理事	業務執行理事と関係者を交え、会の実務の執行について企画検討実施しました。 (H31/4/8、R1/5/13、6/17、7/9、8/5、9/6、10/18、11/15、12/20、R2/1/17、 2/21、3/13 の定例月1回)
------------------	---

委員会概要（◎：委員長、五十音順）メール会議調整除く	
広報委員会	会報発行、ホームページの編成、各種情報の収集、発信方法の検討を行いました。（IT：ホームページ専任、○：IT 専任委員長） ◎秦敦朗、江口之朗、木下久則、木村滋、白石佳子、竹内浩成、三宅眞実、 ○大下勲、IT 梶川智洋、IT 川手憲俊、IT 中野康彦、IT 森渉、 (R1/7/4、11/2)
動物愛護推進委員会	大阪動物愛護フェスティバル、大阪府の各種動物愛護行政施策に連携協働を行いました。（○：大阪動物愛護フェスティバル委員長） ◎淡路俊喜、○西村厳童、今西修大、尾芝仁、北原千春、斉藤恵子、澤田勉、下西清夫、中井正博、新山亮、深田恒夫、安田圭一郎、山内明子、山地良彦、横井慎一、 (H31/4/19、R1/6/5、7/17、8/28、10/16、R2/1/12)
学校飼育動物推進委員会	学校飼育動物の健康管理、出前授業、各種講習会を行いました。 ◎寺田芳徳、江口之朗、大下勲、会亀昭夫、木村英司、樋渡清美、光野京子、美濃部五三男、吉川信行、 (R1/10/3、11/16)
動物救護等対策委員会	災害動物医療支援チーム（大阪 VMAT）の編成、大阪府狂犬病発生時対応体制、大阪府や市町村の地域防災訓練に連携参加、高病原性鳥インフルエンザ等防疫訓練に参加、野生鳥獣救護に参加を行いました。（○：大阪 VMAT 隊長） ◎坂口秀平、○北原千春、大下勲、小泉典代、笹井和美、佐藤光晴、志水孝臣、下西清夫、武田雅人、虎谷卓哉、中津賞、冬木忠清、三宅眞実、山岸達郎、 (R1/7/10、9/13)
獣医学術委員会	講習会、セミナーの開催・共催・後援、獣医学術近畿地区学会参画、顕彰等の推薦を行いました。 ◎新山亮、秋吉秀保、淡路俊喜、勝川千尋、佐藤昭司、佐藤光晴、澤田勉、相馬武久、田村浩司、 (R1/6/11)
狂犬病予防推進対策委員会	狂犬病予防注射接種率向上のための啓発周知、集合注射の説明会開催、市町村長への集合注射参加獣医師の推薦、狂犬病予防ワクチン副反応等事例への措置対応などを行いました。

	◎美濃部五三男、北原千春、笹井和美、虎谷卓哉、中上昭二、長内秀樹、 (R2/1/10、2/6)
規律委員会	会の規律の維持向上のための方策、会員の規律に関する重要事項について理事会の諮問に応じて意見を述べます。 ◎佐伯潤、淡路俊喜、会亀昭夫、木下久則、北原千春、澤田勉、武美範是、田中啓一郎、長濱伸也、

1 感染症対策事業

(1) 狂犬病予防推進事業

ア 市町村が実施する狂犬病予防注射（以下「集合注射」という。）が、円滑かつ効率的に実施されるよう又飼犬登録率の向上のため連携を密にした。

大阪府下 42 市町村（大阪市を除く。）と集合注射実施に向けて協議した。

注射会場数 1,027 会場 （午前実施：431 会場 午後実施：596 会場）

実施期間 平成 31 年 4 月 1 日～5 月 11 日の間の 31 日実施

イ 予防注射の接種率の向上を図るため周知啓発するため会員動物病院、市町村担当窓口にポスターを 356 カ所に掲出した。また、市町村各広報 42 誌へ情報提供した。

ウ 本会が狂犬病予防注射業務研修をおこない、修了した会員獣医師を集合注射等協力獣医師として 314 名委嘱し、確認書に基づき府内 40 市町村長へ推薦した。

エ 飼い主への不安軽減とワクチンによる事故情報を迅速に共有化することで注射の安全性向上を図るため、また、狂犬病予防注射の事故等の迅速対応体制を確認するため連絡会議を開催した。

オ 令和元年 10 月 1 日からの消費税改定にともない、狂犬病予防注射の集合注射会場での料金改定を確認書に基づき市町村と協議した結果、1 頭につき 2700 円を 2750 円となった。

カ 狂犬病予防ワクチンの備蓄を、本会会員病院でのランニングストックでの 7,000 頭分に加えて、1,000 頭分のランニングストックを薬業界の協力支援を得ておこなった。

キ 狂犬病予防注射接種による副反応やアナフィラキシーが 2 件の発生があったが、迅速丁寧に飼い主に説明し、犬への治療対応も実施した。

なお、事故などについて獣医学術的見地からの考察が必要な場合は、大阪府立大学との協定により対応できるよう整備している。

さらに、狂犬病清浄国の維持は犬の狂犬病予防注射の接種率の向上にあるため、本会において条例で犬を飼っている旨の表示義務の門標（犬シール）を魅力あるデザインにし、飼い主に無料で配布して接種率の向上を図っている。

狂犬病発生時の対策整備は、来年度の施行に向けて調整した。

周知啓発

ホームページ登載するとともに、市町村周知広報時に啓發文登載

ポスター：会員動物病院(317 施設)と市町村担当窓口(42 カ所)に配布。

(2) 人と動物の共通感染症の対策と情報収集と啓発

ペット動物の SFTS(重症熱性血小板減少症候群)抗体保有調査を大阪府安全基盤健康研究所と協働連携し実施した。また、SFTS のペット動物への注意喚起をホームページに登載した。

[情報発信対象] 会員、近畿地区獣医師会、各種団体、一般

[医薬品・飼料等の備蓄]流通在庫備蓄方式(ランニング スtock方式)

[対応会員動物病院数] 314 動物病院

(3) 家畜衛生・食品衛生・畜産分野での周知啓発事業

家畜衛生、食品衛生、食肉衛生、畜産分野で最新情報を発信するためホームページ登載、チラシ・掲示物で周知した。

2 動物愛護事業

(1) 大阪動物愛護フェスティバル事業

「動物の愛護及び管理に関する法律」に基づく動物愛護週間の支援事業として、公益社団法人大阪市獣医師会と主催し、大阪府、大阪市と共催し、環境庁、公益社団法人日本動物福祉協会の後援で、「命ある動物の愛護と適正な飼養についての関心と理解を深める」ため、「みんなともだち 地球の仲間」をテーマとして大阪市中央公会堂と大阪城公園太陽の広場で、次の内容で開催した。

◎大阪市中央公会堂 (R1.9.21)

ア 長寿動物表彰式

長寿動物の飼い主を顕彰することで、動物の愛護と適正な飼養について周知啓発した。

[対象飼い主]一般：授賞式出席者 531 名[費用]無料

[基準]大型犬：14 歳以上、中型小型犬：16 歳以上、猫：18 歳以上[表彰数]566 頭

イ 講演会（表彰式に併せて実施）

「動物虐待と多頭飼育を防ぐために」 杉本彩 先生（大阪市おおさかワンニャン特別大使）
ウ 動物愛護精神の涵養のため、幼稚園などの幼児による絵画の展示（表彰式会場）

池田市内幼稚園児の動物絵画展示

◎大阪城公園太陽の広場 (R1/11/10)

来場者約 8,000 名

ア 盲導犬の紹介と演技をとおして、身体障害者補助犬を正しく理解されるよう周知啓発

イ 警察犬、災害救助犬の紹介と演習をとおして、犬の訓練としつけが人の生活に必要なことを周知啓発するとともに動物と共存することの楽しさを伝えた。

ウ しつけ教室を開催し、しつけの実技指導をとおして、より適切な管理の啓発

エ 無料動物医療相談を開設し、診療などへの質問に説明をした。

(2) 動物救護等対策事業

大阪VMA T（災害動物医療支援チーム Veterinary Medical Assistance Team）設置し、獣医療関係者（獣医師、動物看護師、トリマーなど）で構成した。

大阪府、市町村の実施する地域防災訓練に参加し、人の避難所における動物管理や被災地域周辺の動物病院を被災動物救護所として活用するなどの周知を図った。

ア 地域防災訓練等に参加し啓発周知活動した。

R1/10/26：大阪府土木事務所泉南防災キャラバン、11/23：富田林市、12/8：大東市、

R2/1/17：茨木市、R2/2/23：太子町中止、3/8：松原市中止、3/22：大阪府中止、

内容：講演、情報交換、災害時のペット同行避難用品展示、啓発パネル展示、チラシ配付等

イ 動物の個体識別のためのマイクロチップの普及事業

大阪府飼養管理サポート事業でマイクロチップの支援をした。

(3) 野生鳥獣救護事業

大阪府野生鳥獣救護ドクターとして協働した。

野生鳥獣救護ドクター登録数：52名（内 特定救護6名）、

救護等実績数：216件（内訳：鳥類211件、獣類5件）

また、特定非営利活動法人野生動物救護獣医師協会の講習会やポスター「ヒナを拾わないで」を後援し、周知啓発している。

(4) その他

◎大阪府飼養管理サポート事業に連携協働

受入動物病院 12病院 サポート子猫：9頭

◎大阪府所有者のいないネコ対策支援事業に連携協働

松原市2カ所、羽曳野市、茨木市の4地域

◎大阪府適正飼養普及啓発事業

大阪府と連携協働し健康管理の講義を実施した。R1/10/26：動物愛護管理センター、11/16：茨木市役所南館、R2/1/25：大東市民会館、2/8：泉佐野保健所。

◎大阪府動物愛護推進協議会に佐伯会長、動物愛護推進委員会淡路委員長が委員として参画。

◎大阪府動物愛護推進員に会員を推薦。

◎大阪府動物由来感染症対策委員会（大阪府動物由来感染症審議会を H28 年度再編）に佐伯会長が委員として参画。

◎大阪府アライグマ被害対策検討委員会に佐伯会長が委員として参画。

3 学校飼育動物事業

（１）大阪府教育庁、学校教育関係者等への学校飼育動物に対する技術的指導、支援

R1/6/20 教育庁市町村担当主事研修で技術的講演を行った。

講師 学校飼育動物推進委員会委員長 寺田芳徳先生

（２）各市町村学校における子どもたち等への学校飼育動物の講習会等への協力

学校飼育動物協力獣医師：１８１名

市町村教育委員会：４２機関

対象小学校・支援学校：７４５校

学校での動物飼育の発表展示

学校飼育動物奨励表彰

R1/11/11：大阪動物愛護フェスティバル大阪城公園：学校飼育動物委員会ブース

発表校：八尾市立長池小学校

学校飼育動物特別講義支援

R1/11/16：大阪大谷大学教育学部教育学科幼児教育専攻自然教育コース学生 ４０名

特別講義学外講師 学校飼育動物推進委員 大下勲先生

学校飼育動物推進委員会委員、大阪府立農芸高校ふれあい動物部部員

日本獣医師会獣医学術年次大会：R2/2/9 公開型拡大会議意見交換会参加

・がっこう動物新聞（壁新聞）８号を大阪府教育庁と各市町村教育委員会を通じて全小学校・支援学校に配布予定したが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため次年度に延期。

配付先：大阪府教育庁事務局市町村教育室小中学校課及び教育振興室支援教育課の２課、大阪府下（大阪市を除く）の各市町村教育委員会事務局：４２事務局、大阪府下（大阪市を除く）の小学校：６９９校、支援学校：４６校、本会会員の動物病院：３１４施設

4 学術普及事業

（１）学会、研修、講習会の開催

1. R1/6/23：セミナー３回シリーズ

第１回「電話対応から受付までのトリアージを中心に、CPR まで」：神津善広先生（北摂夜間救急動物病院）

2. R1/9/1：獣医公衆衛生講習会(近畿地区)
法獣医学～動物虐待に対する獣医学的アプローチ：佐伯潤先生(帝京科学大学准教授)
3. R1/9/29：第三回箕面動物愛護市民フォーラム
「はじめましてから、大好きだよありがとうまで」：中塚圭子先生(宮崎大学)
4. R1/9/28：獣医学術近畿地区学会
獣医学術産業動物学会、獣医学術小動物学会、獣医学術獣医公衆衛生学会
5. R1/12/1：大阪 VMAT セミナー
災害時のシェルターメディスン：田中亜紀先生（日本獣医生命科学大学）
6. R2/1/16：セミナー 3回シリーズ
第2回「夜間動物病院から学ぶ、よく見られる緊急症例と DIC アップデート」：
神津善広先生（北摂夜間救急動物病院）
7. R2/2/16：セミナー 3回シリーズ
第3回「アドバンス CPR～最新のチーム心肺蘇生～」：神津善広先生(北摂夜間救急動物病院)
8. R2/3/1：ペピイアカデミックフェスタ；中止
インストラクターから学ぶ、よくある困ったを解決：関拓真先生

(2) 学会、研修、講習会の共催、協力

1. H31/4/19：大阪府立大学臨床センター 第11回 OPUVMC セミナー
2. R1/5/28：日本動物病院協会 第166回 JAHA 国際セミナー
3. R1/6/9：大阪市獣医師会 第1回小動物診療技術講習会
4. R1/6/16：アジア獣医皮膚科専門医協会 2019 ひふゼミ・京都
5. R1/6/23：三重県獣医師会 小動物講習会
6. R1/7/8：エキゾチックペット研究会 ディスカッションセミナーin 京都
7. R1/7/12：日本動物病院協会 WJVF 第10回記念大会
8. R1/7/14：災害動物医療研究会 認定 VMAT 講習会
9. R1/7/19：大阪府立大学臨床センター 第12回 OPUVMC セミナー
10. R1/7/30：日本動物病院協会 第167回 JAHA 国際セミナー
11. R1/8/4：比較統合医療学会 第63回大会
12. R1/8/12：アジア獣医皮膚科専門医協会 2019 ひふゼミ・大阪
13. R1/8/18：大阪市獣医師会 第2回小動物診療技術講習会
14. R1/8/25：小動物ウイルス研究会 学術集会
15. R1/9/15：京都府獣医師会 学術講習会
16. R1/10/18：大阪府立大学臨床センター 第13回 OPUVMC セミナー
17. R1/10/19：アジア伝統獣医学会/アジア中獣医師会

18. R1/10/20：滋賀県獣医師会 第1回小動物学術講習会
19. R1/11/15：動物臨床医学研究所 動物臨床医学会 記念年次大会
20. R1/12/1：京都市獣医師会 学術講習会
21. R1/12/1：奈良県獣医師会 学術セミナー2019
22. R1/12/1：京都府獣医師会 学術講習会
23. R1/12/8：大阪市獣医師会 小動物診療技術講習会・症例検討会
24. R1/12/12：畜産技術協会 超音波画像診断による繁殖技術向上研修会
25. R1/12/15：滋賀県獣医師会 小動物学術講習会
26. R1/12/17：畜産技術協会 肉用牛における MPT 研修会
27. R1/12/21：日本動物病院協会 第168回国際セミナー
28. R1/12/22：滋賀県獣医師会 動物愛護一般公開講座
29. R1/12/22：大阪府立大学獣医臨床センター 第14回 OPUVM セミナー
30. R1/12/23：大阪府立大学獣医臨床センター 第15回 OPUVM セミナー
31. R2/1/11：日本獣医麻酔外科学会 日本獣医循環器学会 日本獣医画像診断学会
32. R2/1/14：畜産技術協会 OPU の基礎講習と MPT の新しいアプローチ
33. R2/1/19：三重県獣医師会 外耳炎を一頭でも多く治すための知識と治療
34. R2/1/19：兵庫県獣医師会 小動物臨床講習会
35. R2/2/16：兵庫県開業獣医師会 第10回ベッツひょうご臨床研究会
36. R2/2/23：日本医療・環境オゾン学会獣医部会 第15回獣医オゾン療法セミナー
37. R2/2/24：滋賀県獣医師会 一般公開講座
38. R2/3/1：大阪市獣医師会 第4回小動物診療技術講習会；中止
39. R2/3/1：ペピイアカデミックフェスタ；中止
40. R2/3/6：日本動物病院協会 第170回国際セミナー
41. R2/3/7：野生動物救護獣医師協会 講習会
42. R2/3/14：京都大学 ホウ素中性子捕捉療法の獣医学分野への適応拡大に向けて；中止
43. R2/3/15：日本獣医麻酔外科学会 胸部外科の基礎とアドバンス

(3) 学会への参加発表の奨励、表彰

本会の公益事業の発展に貢献、功績のあったものに会長賞を、獣医学術の向上、研究又は獣医技術の普及にあったもの並びに将来の発展が期待できるもの及び獣医学を通じて社会に貢献したものに中村賞を授与した。

R1/5/30：ホテルプリムローズ大阪（敬称略・五十音順）

会長賞受賞者

株式会社アスコ、MP アグロ株式会社、北垣薬品株式会社、裕和薬品株式会社、
田中憲太郎(田中動物病院院長)、
近藤智(株式会社 MEW 代表)、
安木真世(大阪府立大学准教授)、

中村賞受賞者

中嶋秀満(大阪府立大学准教授)

令和 2 年各卒業式で会長表彰状授与者（敬称略）

谷口宗 大阪府立大学(R2/3/24)

梅本有彩 大阪 ECO 動物海洋専門学校(R2/3/5)

柳井美咲 大阪ペピイ動物看護専門学校(R2/3/26)

R1/11/10：学校飼育動物奨励表彰校：大阪動物愛護フェスティバル in 大阪城公園
八尾市立長池小学校

（４）その他

大阪府立大学における獣医学教育・研究の充実・改革に向けた教員増、並びに獣医学部および獣医学研究科の設置を支援及び獣医療補助者の知識・技術の高位平準化の推進や適切な獣医療の提供体制の整備に寄与することを目的として、動物看護師の公的資格化を支援のため、近畿地区連合獣医師大会へ提案し日本獣医師会を通じて内閣府へ要望した。

なお、動物看護師については、「愛玩動物看護師法」として令和元年 6 月 28 日に公布された。
公布後 3 年以内に法の全部が施行され、公的資格の試験が令和 5 年 12 月末までに実施される。

その他の事業

1 獣医療に関わる者の待遇改善・福利厚生に関する事業として実施した。

（１）社員並びにその親族への慶弔と見舞金の給付

日本獣医師会獣医師福祉共済事業で福利厚生を図った。

訃報に接して、供花、香典等で弔慰をしめした。（受信順、敬称略）

開業部会	井上育夫(本人)、山田徹(父)、中出宏(妻)、中出学(母)
衛生・畜産部会	中家利夫(本人)

（２）獣医療証明様式などの頒布

日本獣医師会様式を頒布した。

(3) 会員への情報提供等

会員専用ホームページから速報や訃報で、また文書で情報提供した。

2 大阪府動物愛護管理基金寄附事業

大阪府動物愛護管理基金に寄附し、動物愛護・動物福祉の向上に資することを目的とする事業を実施したが、利益が生じず寄附に及ばなかった。